

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社(仮称)関西JIC新築工事	階数	地上3F
建設地	兵庫県宝塚市高松町201番1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年1月23日
敷地面積	3,675 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社一級建築士事務所 伊藤大輔
建築面積	1,108 m ²	確認日	2023年1月23日
延床面積	3,332 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社一級建築士事務所 伊藤大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内に適切な量の駐車スペースを設けている。壁面位置、外装の形状において圧迫感のない印象としている。隣地境界部に緑地帯や駐車場緑化を設けるなど周辺環境に配慮している。	
その他	0	
Q1 室内環境	ブラインドによりグレアを制御している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	執務スペースの1%以上の食堂を設け、給茶機や自動販売機を設けるなど執務者にとって快適なオフィス環境になるように配慮し、心身をリフレッシュできるスペースを設けている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	駐車場緑化や、外構緑化指数10%以上20%未満を示す規模の外構緑化を行い、なおかつ中木を植栽している。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	トップライトを設け3階の執務スペースの廊下に自然光が差し込む設計としている	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器、擬音装置付)などを用いている。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮をしている。また、附置義務以上の量の駐車スペースの確保をしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される